

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 日本国憲法 ナンバリング：1011		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：木塚正也 担当形態：単独
授業の到達目標及びテーマ			
1. 日本の近代憲法が採用する立憲主義の考え方を理解し説明できる。 2. 日本国憲法の基本原理と法学的・論理的な考え方 (Legal mind) を実践できる。 3. 基本的人権・こどもの人権の意義を理解し、損なわずに実現する方法を工夫できる。			
授業の概要：権力を制限し、人権実現を保障する憲法の意義について説明し、日本国憲法の基本原理、および、保育者として理解しておくべき人権保障の考え方について、法的な観点から解説する。			
授業計画		授業時間外の学習	
第1回：法学の基礎—さまざまな法の姿、法の思想と歴史、法の内外 第2回：憲法の基礎—憲法はなぜあるのか、憲法の目的と機能 第3回：保育をめぐる法律問題—事故・事件・判例の分析 第4回：人権とは何か—思想、条約、憲法、法令、具体的基準 第5回：国籍と人権保障—政治活動、社会権、公務就任 第6回：子どもの人権—安心・安全、環境・関係、成長支援 第7回：保育に関わる事件・事故と判例①—事案・判決の分析 第8回：変化する人権—プライバシー、自己決定、声と法的救済 第9回：法の下での平等—区別と差別の境界、形式と実質 第10回：保育に関わる事件・事故と判例②—事案・判決の分析 第11回：憲法と社会保障・社会福祉—社会権の政府による実現 第12回：教育を受ける権利—人権としての意義、判例解説 第13回：保育に関わる事件・事故と判例③—事案・判決の分析 第14回：国と地方のしくみ—議会、行政、司法・違憲法令審査 第15回：まとめ—憲法・法令に関わり、実現する権利と責任 定期試験：筆記		・予習：教科書の指示された範囲を読み、わからないことばなどを調べ、整理しておくこと（90分程度）。 ・復習：授業の内容をふりかえり、理解できたことを整理しておくこと。また、授業中に紹介した参考資料について調べて補足し、自分なりに考えてみる（90分程度）。 ・授業時間外に、授業内容に関連して自分なりに調べ、考えたことをレポートにまとめて提出した場合は、加点評価をすることがある（任意・随時提出受付）。	
授業の方法：対話を取り入れた講義形式で実施する。授業で取り上げたテーマについて、毎回、印象に残った点・コメント・疑問に思った点を記入してもらい、次の授業の回にフィードバックを行う。また、2回目以降、前の回の授業内容に関する小テストを実施する。			
テキスト 『保育者のための法学・憲法入門（第2版）』高乗正臣(成文堂、令和5年)			
参考書・参考資料等 法令・例規・判例などのネットでの検索方法については授業内で指示する。			
学生に対する評価 定期試験の成績・60%、平常点・40%（コメントシート・提出物、授業中の応答・発問等を、各回1～3点として評価）。			
履修上の注意 保育のプロとなる責任と自覚を持って、授業に誠実に取り組む姿勢を求める。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を生かした教育内容			